

DEAF RUGBY WORLD SEVENS JAPAN 日本2026

第3回7人制デフラグビー世界大会

10.31（土）
11.02（月）
11.03（火・祝）

江東区夢の島競技場
スピアーズえどりくフィールド
秩父宮ラグビー場

入場料 無料

主催：特定非営利活動法人 日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟　共催：東京都



Equal through Rugby
～ラグビーを通しての平等～

デフラグビーとは?

デフは英語で「耳が聞こえない」の意味。デフラグビー＝聴覚障がいのある選手がプレーをするラグビーのことです。当連盟は、デフラグビーを通して、聞こえないことへの理解を社会に広め、障害による差別をなくしていくことを目指しています。また、コミニケーションや助け合いの大切さを伝え、世界の聴覚障がい者を取り巻く環境の改善と、共に歩む「共生社会」の実現を目指しています。

一般のラグビーとの違い

ルール:	一般のラグビーと同じ
聴力基準:	両耳平均40dB以上の中等度難聴
補聴器の装用:	試合時は認められていない（人工内耳も同様）
レフリング:	笛を使わず手で合図を出す（サイレントレフリー）

「みて、わかる」サイレントレフリー

①笛（音）の代わりに旗・軍手・タオルで合図

笛（ホイッスル）の代わりに
原色の旗、軍手、タオルを使用。視覚的に反則やプレイ停止を合図する世界初の革新的チャレンジ。



②声を使わずタイミングを合わせる「デフスクラム」

スクラムの合図は、レフリーの「声」ではなく「手」で確認。
①バー＝クラウチ（構え）
②グー＝バインド（組む）
③手を引く＝セット（ぶつかる）



③視覚的なカバー率を高める「インゴールジャッジ」

主審と副審に加え「インゴール（トライゾーン）」にも
旗を持った審判を配置。
選手がどこを向いていても
反則やプレイ停止の旗（合図）が
視界に入る仕組みを構築。



出場国

男子が11チーム、女子が6チーム出場する予定です。単独でチームを編成できない国はバーバリアンズという混合チームを結成し、多国籍チームとして出場します。


ウェールズ


日本


オーストラリア


フィジー


イングランド


中国香港


ニュージーランド


サモア


イタリア


南アフリカ共和国


バーバリアンズ

※出場国は諸事情により変更となる場合があります。最新情報は公式サイトをご確認ください。

大会スケジュール・会場

※開催日によって会場が異なります。ご注意ください。
※詳細タイムスケジュールは大会公式ウェブサイトをご確認ください。



ワールドパートナー

三機工業

オフィシャルサポーターズ

吉岡株式會社
船昌商事株式会社 Funasho Shoji Co.,Ltd.
まつもとペインクリニック 整形外科
大成建設 For a Lively World
SAN
清川株式会社

助成団体

スポーツ振興基金助成事業
公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会

Equal through Rugby ～ラグビーを通しての平等～

JDRFU JAPAN DEAF RUGBY FOOTBALL UNION
（特非）日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟

ホームページは デフラグビー 検索

協力

東京ガス株式会社
公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
公益財団法人日本財団ボランティアセンター

後援

江戸川区

クラウドファンディング実施中!

大会HPはこちらから

問い合わせ先：世界大会運営委員会　事務局
Mail：info-3rd-wdr7japan@deaf-rugby.or.jp